

大阪総合デザイン専門学校

学校関係者評価報告書

(令和3年度)

実施日＝令和3年9月2日

学校法人上田学園

大阪総合デザイン専門学校

学校法人上田学園 大阪総合デザイン専門学校 学校関係者評価報告書について

学校法人上田学園は、平成20年に、学校自己評価制度導入を図るために、自己点検部会を設立し、組織的な体制を築きました。その後、平成23年度より「学校自己評価報告書」を取りまとめ、平成24年6月から毎年6月に本学園のホームページ上に公表いたしました。

また、平成25年度より、本校に関係の深い方々からご意見等を頂戴し、今後の学校運営に反映させ、改善を図るべく「学校関係者評価」を実施いたしております。学校関係者評価委員会では、第三者の視点に立った、多くの貴重なご意見、ご指導を賜り、改めて学校関係者評価の重要性を認識した次第です。ここに学校関係者評価の内容についてご報告いたします。

今後もより良い学校運営、教育活動を目指し、教職員一同尽力して参りますので、関係者の方々をはじめ皆様の、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年10月

学校法人上田学園 理事長 上田哲也
大阪総合デザイン専門学校 校長 丸岡宏次

1. 「学校関係者評価」の実施について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に則し実施した「令和元年度学校自己評価報告書」に基づき、本校と関係の深い4名の学校関係者評価委員の方々に評価して頂きました。

各評価委員には、事前に「令和2年度学校自己評価報告書」等の学校評価に関連する資料を配布した上で、学校関係者評価委員会でご意見を頂戴しました。今年度は、コロナ禍の状況を鑑み、委員長と学校関係者は校内から、各委員はご自宅等から参加というリモート形式で会議を進行しました。評価委員からのご意見は、校長が承り、その内容等について要約の上、報告書として取り纏めました。令和2年度学校自己評価報告書と併せてご覧いただければと存じます。

2. 学校関係者評価委員一覧表

評価委員	当校との関係属性等	備考
井村 良裕	同窓会名誉会長・評議員 卒業生の代表として参画 毎年、卒業制作の中から同窓会会長賞を選出頂いている。	委員長
鵜飼 隆	(有)タイトルアート 代表取締役 卒業生を継続的に多数ご採用頂いている企業の代表として参画	
廣瀬 勇一	(株)ロイスエンタテインメント 代表取締役 卒業生・留学生を採用頂いている企業の代表として参画	
飯田 俊子	元(公財)大阪観光局 常務理事 地域振興における有識者として参画	

3. 学校関係者評価委員会 次第（令和3年9月2日開催）

1. 校長挨拶
2. 自己評価報告書の概要説明
3. 重点目標、事業計画、今後の取組み方針等の説明
4. コロナ禍の対応について
5. その他

その内容等について、学校評価ガイドラインの大項目に沿って、要約の上、以下の通り報告いたします。

大項目別 学校関係者評価結果 意見・助言

No.	大項目	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切 2 不適切:1	意見・助言
1	教育 理念 ・ 目的 ・ 人材 育成像	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか ・学校における職業教育その他の教育指導等の特色は何か ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか 	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のために非常に誠実に教育理念を実践していると思う。 ・創立者の理念は、しっかりと形成されていて、教職員にも浸透していると思う。
2	学 校 運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか ・人事、給与に関する規定等は整備されているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか 	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営・マネジメントは、年々向上、進化していると思う。
3	教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ・職員の能力開発のための研修等が行われているか 	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムや授業内容は、社会のニーズをくみとって、年々向上、進化していると思う。 ・学生からの評価は大事で、非常に高く満足できているという結果が出ていることが素晴らしい。

4	学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか 	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症によるデザイン業界不況の中でも努力していると思う。 ・卒業生に関しては、同窓会が組織されており、毎年同窓会や総会を開催していたが、コロナ禍で55周年記念行事も延長されている。
5	学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症によるデザイン業界不況の中では、従来よりも更に高度な学生支援(ポートフォリオ制作や採用面接支援)が必要かもしれない。 ・今年度「高等教育の修学支援制度」の対象校となったことは、学生への継続的な支援として大きな成果である。
6	教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか 	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンをもう少し積極的に進めてはいかかと思う。 ・学生銘々にパソコンを行き渡らせており、リモート授業の環境が整備されている。
7	学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・学納金は妥当なものとなっているか 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生への説明は、誠実かつ適切だと思う。 ・2年越しで入学を待っている留学生在がいるということは、総合校の魅力が伝わっている証であると思う。
8	財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計検査が適正に行なわれているか ・財務情報公開の体制整備はできているか 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での緊急的金銭支出は、必要最小限の措置として適切だと思う。
9	法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか ・自己評価結果を公開しているか 	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に高いコンプライアンス体制を維持していると思う。
10	社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域連携を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか 	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベントやキャンペーンが中止になっているため、やむを得ないと思う。 ・コロナ禍で、現状は動きにくかった。

11	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか 	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、日本へ来られない留学生へもしっかりと対応しているのは、すばらしいと思う。 ・コロナ禍の厳しい現状で、できるだけ対応はしていると思うが、今後さらに継続して努力をお願いしたい。 ・入国が不可能になった外国人留学生のフォロー体制ができています。
総括的なご意見		<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自体は毎年向上・進化していると思う。ただ新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の悪化、特にデザイン業界等の不況の中で、学生の就職支援に、より一層力を入れていってほしいと思う。 ・コロナ禍の厳しい現状で、それにもかかわらずきめ細やかに次々と改善の施策をとっており、感心した。まだまだこの状況が終焉を迎える兆しは見えないため、今の間によりオンラインでの授業のやり方やPR、魅力的なコンテンツの作成に傾注していくのがいいのではと考える。 ・オンライン授業のコンテンツ作成は、必ず対面でのクラスにも活かされるものである。今、どの学校や組織もオンラインを使って、オンラインの強みである国境を越えた相手と結びつくことに力を入れ始めている。言語の壁はあるが、幸い、ヴィジュアル的なものを扱うことが多いので、他の分野よりも言語の壁は低いのではないかとと思われる。 ・学生たちの多くはプレゼンがうまくないということだが、同程度の内容ならばプレゼンによって差をつけることが可能だと思う。黙って作品を評価してもらうという受け身の姿勢ではなく、これからの時代にはある程度自分の作品を言語化してプレゼンしていく技術も求められるのではないと思う。少なくとも文字にして表現していくという作業が必要だと思う。 ・すでに取り組んでいると思うが、学校としては就職活動を念頭にしたサポートをさらに充実させていくことで就職率の高い学校という実績を積み上げていけるのではないかとと思う。 ・「人と人をしっかりつなぐ 魅力あるデザインは 魅力ある表現者から生まれる・・・」学校創立者の理念がコロナ禍の今こそ問われている。まずこの理念を体現しているべきは諸先生方かと思う。 ・対面とリモート両形態の授業という新しい劇空間で、先生方は監督として演者、表現者としての力量が従来以上に問われており、社会情勢が変化中、学生の様々なニーズに応え、カリキュラムの見直しや体験授業を実施し、広い視野で自ら考えられる学生を育成しようとしているのは、苦勞が多いことと思う。 ・令和2年度の学校運営の大きな成果は「高等教育の修学支援新制度」の対象校となったことに現れている。令和元年度には、対象校と同様の支援を学生に行うためにかなりの経費を投入した。 ・学生銘々にパソコンを行き渡らせてリモート授業の環境を整備したこと、入国が不可能となった外国人留学生のフォロー体制など、学生重視の姿勢を継続していること自体が、学校運営の成果ではないだろうか。 		

	・コロナ禍の時代における安全衛生環境整備、関係諸機関との協力、協働などについて様々な努力をし、建学の精神を教育現場で体現すべく格闘していることを窺い知った。
--	--

* 各委員に項目ごとに4段階評価を受け、総合評価として平均値を記載。

6. 終わりに

校長から各委員に貴重なご意見を頂戴したことに対して謝辞を述べ、今回提示された学校、学園運営の課題等は、所轄部所にて改善策を検討することとし、閉会となった。

以上